

II. まえがき

本書は、大分県の県北を流れる山国川の源流の流域に位置する山国町（現：中津市山国町、前：下毛郡山国町、旧：下毛郡三郷村・溝部村・槻木村と隣接の周辺地域）に伝承されている昔話を、同町在住の益永嘉之氏が本書のタイトルのもとに、昭和28年（1953年）に山国村発行の広報紙『山国たより』に寄稿・連載したもので総16話になりますが、益永先生のご賛同を得て、同氏のご指導のもとにこれら連載をインターネット上で公開するために、平成24年（2012年）に編纂したものです。

編纂の主旨は、益永先生の郷土史に対する造詣の深さと、溢れる郷土愛を伝記とした功績を称え、

- 一、著書を風化させることなく後世への伝承を確実なものとし、電子化して永久保存する。
- 二、個々の物語の冒頭に伝承地周辺の案内図を配し、物語に関わるの伝承地の状況を類察できるようにした。併せて情景画像を加えることで、読者が『郷土の昔物語り』をより豊かに想像できるように一助としました。
- 三、「補説」欄を設け、語彙や人物の生涯歴等を解説し、読者が『郷土の昔物語り』をより深く理解できるように配慮しました。
- 四、一般的に昔話は縁起物としての伝承、口承等があり今日に於いて結果として諸説が伝承されている場合があります。本書では『郷土の昔物語り』と同一伝承の昔話について、所有者又は関係者のご協力を得て「補説」欄に紹介し、読者ご自身による物語の深層を洞察・考証する機会となるように配慮しました。

最後に、読者諸兄が本書を通してあらためて郷土愛に目を向け、それを覚えれば、益永先生の本意が伝承し、且つ編纂者の期待に沿うものであります。

この編纂にあたり中津市山国支所をはじめ関係各位の皆様方のご協力に感謝申し上げます。

平成24年10月吉日

編纂者 梅津 三男